



学校だより

YY-NET 公式サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/mitakedai/>

第414号

横浜市立みたけ台中学校

6月号

令和3年5月28日

夏来にけらし…

校長 小林 誠

冒頭の言葉は、おなじみ百人一首の『春過ぎて 夏来にけらし 白妙の 衣干すてふ 天の香具山』という和歌の一部です。緑の山を背景に、衣替えのために干されている夏物の白い服が初夏の訪れを感じさせる、目にさわやかな歌です。毎年、今頃の気候になるとこの歌が頭に浮かんで、山を眺めにいきたくようになりますが、昨年につき、今年も地元の山田富士でガマンすることになりそうです。

さて、6月1日は、みたけ台中学校の「開校記念日」、43回目のバースディです。みたけ台中学校は、昭和53年(1978)4月1日、青葉台中学校から分離独立し、横浜市立の中学校の102番目の学校として開校しました。その年の6月1日に「校章」が制定され、その日を「開校記念日」としたそうです。みたけ台中学校の校章は、当時の在校生の倉重文子さんのデザインによるもので、三つの竹が『中』の字を囲んでいます。これは、「1・2・3年すべての生徒が力を合わせて、よりすばらしい学校をつくる心」を表しているそうです。その想いを伝統に、今日のみたけ台中学校があります。余談ですが、これを聞くと、「『みたけ』って、ひょっとして『三竹』？」と思うかもしれません。でも、そうではなく、昔は『美竹』と書いていたそうです。正門横の小さな庭にある竹が、昔のみたけ台地区を偲ばせてくれます。



『ハマ弁』が『中学校給食』に代わって2か月が経ちました。この間、給食の利用数は毎日60食前後で推移しております。本校での利用率は20%以上であり、横浜市での目標をクリアしています。1年生のご家庭には、小6のうちに登録のお願いをし、利用をお勧めしてまいりました。ご協力に感謝します。生徒たちは、食器を返すときに、口々に配膳員さんに「ごちそうさまでした」「おいしかったです」と言っています。校長も、検食のため毎日給食を食べていますが、4月からはさらにおいしくなったように感じています。1食からでも注文できますので、まだご利用されたことのないご家庭でも、ぜひ1度ご利用してみてください。

この6月号がお手元に届くころには、まん延防止等重点措置の延長が決定しているかと思えます。本校では、1年生のPAA・2年生の自然教室・3年生の修学旅行ともに、実施を9月に変更しています。様々な学校行事も、規模や形態を変えながら、なるべく実施できるよう工夫しながら進めているところです。地域の皆様・保護者の皆様にも、以前のような形でのご協力はなかなかお願いできない状況ですが、ご理解をいただきたく思います。学校だよりなどで学校の様子はお伝えさせていただきまますので、本校生徒のより良い成長のために、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

大縄跳び練習

ゴールデンウィークが明けた5月7日（金）より昼休みの大縄跳び練習が始まりました。応援団を中心に、各クラスで様々なこと（回し手・並び順・練習日・掛け声など）を決め、心をひとつにして取り組んでいます。今年から、いろいろなことを考えて、学年の中の順番を、今までのやり方から『3分間の総合計回数』で競うことになりました。連続回数については、1位を全校表彰することになっています。昨日の予行練習では、100回を跳ぶクラスが出てきました。連続回数は、25日現在、3年3組が56回でリードしています。



体育祭色別集会

5月24日（月）朝、校庭に集合し、体育祭色別集会をしました。『応援団自己紹介』、『先生紹介』、『色別リレー選手紹介』、『団長・副団長決意表明』などがあり、円になって一体感を高めました。



今年も素敵な団扇ができました

表紙絵（プログラム面）は絵画部が、裏面（各色応援歌等）は応援団員がデザインした素敵な団扇が今年もでき上がりました。先日の予行練習のときも、綱引きの場面等で、一齐に手拍子のように叩かれ、一体感が出ていました。暑さしのぎにも一役買い、とても有意義な応援グッズですね。製作に携わってくれたみなさんありがとうございました。



体育祭に向けて

体育祭に向けて毎日応援練習をがんばっている応援団を代表して、各組団長に意気込みを書いてもらいました。

<赤組団長>

赤組団長の3年2組鳥井洸太郎です。赤組は、全学年で仲が良く、燃え上がるように、元気で、明るいです！最後の最後まで全力を尽くし、最高に盛り上がる、一生の思い出に残るような体育祭を目指します！昨年度先輩達の想いを胸に、2年分の体育祭、必ず悔いの残らないものにして、優勝します！

<白組団長>

白組は、何があってもあきらめず前に進み、組としての一体感が感じられ、他の組よりも最高の思い出が作れると思います。大縄やリレー、これまでにクラスの人たちとの絆も深められたと強く思います。白組が優勝するには、一人ひとりが同じ方向を向いているかです。白組は一世風靡を目指し、優勝を必ず勝ちとり、楽しい思い出を作りあげましょう。安部 纏

<青組団長>

第44回青組団長になりました荘健太です。青組の皆さん、初めて経験する1、2年生、2年ぶりで最後の体育祭を迎える3年生、それぞれバラバラな境遇でも一致団結すれば一心同体です。我ら応援団は総合優勝のため、最高の思い出を残すために、精一杯全力で応援します！昨年度は中止となってしまった体育祭、だからこそ、今年は昨年度の分もガチで全力で思いっきり盛り上がるぞ！

競技、応援、係の仕事、それぞれの立場でもてる力を精いっぱい発揮し、心に残る最高の体育祭にしていきたいと思います。

<第1回学校運営協議会>

5月7日（金）に、みたけ台中学校第2会議室にて、令和3年度第1回目の学校運営協議会を開催いたしました。今年度のみたけ台中学校の学校経営について説明をした後、委員の皆様から今後の教育活動についてご意見をいただきました。一部となりますが、ご紹介します。

○はま弁が中学校給食となったが、生徒の利用の様子はどうか

⇒給食となったことで教育委員会健康教育課がこれまで以上に栄養の面等で積極的に関与していく仕組みとなった。目標は喫食率20パーセント。現在の本校は1日60人前後。20パーセントくらいの喫食となっている。

○コロナ禍だが、学校としてできることをやってほしい。家庭・地域・学校との連携はどうか。

⇒教育活動全体として対外的なことができない、市や県からのガイドラインに沿ってやっており学校で判断できないことも多い。体育祭も地域・保護者の皆様を招待せず、平日開催。自然教室は変更。修学旅行も変更で進めている。形を変えてもできることをやっていきたい。

この他にも、いじめ、リモート授業、教職員の研修などについて、ご質問やご意見をいただきました。いただいたご意見をもとに、今後も学校と保護者、地域社会が連携し合いながら、「どんな子どもを育てるのか」「何を実現するのか」という目標やビジョンを共有しながら、教育活動を進めて参ります。